

屋内外問わず多様な環境・用途で活用可能！

無線設定の小型マルチユースミリ波レーダセンサ「1A1M 形」を発売

IDEC 株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役会長兼社長：船木 俊之）は、2021 年 9 月に、アルプスアルパイン株式会社との合併会社となる、IDEC ALPS Technologies 株式会社を設立し、「新しい HMI 価値の提供を通じて、安全・安心な社会に貢献すること」を目指した製品開発を行ってまいりましたが、第 1 弾となる無線設定の小型マルチユースミリ波レーダセンサ「1A1M 形」を発売いたします。発売日は、2023 年 5 月 16 日（火）を予定しております。

マルチユースミリ波レーダセンサは、高周波のレーダ（本製品では 60GHz）を対象物に照射してセンシングを行うことで、約 10m 距離までの対象物の有無検知や、対象物までの距離、対象物の反射強度、指定した対象物のみを検出することなどができます。低消費電力で耐環境性にも優れており、光学式センサでは検知が難しい、西日や降雨 降雪がある屋外や、水蒸気、粉じんが舞うような環境下でも使うことができ、超音波式センサと比較してもより高い耐環境性能を有しています。

これまで産業機器向けに製品化されたミリ波レーダを使った製品とは異なり、今回民生・車載向けで培われたアルプスアルパイン株式会社の技術と、産業機器向けの IDEC の HMI 技術・ノウハウを駆使し、実証実験による地道なノウハウを蓄積することで、産業市場のお客さまの使い方にベストマッチする、オンリーワンの競争優位性を持つ製品を開発いたしました。双方の国内外の拠点がリモート環境下で連携・協力して開発しており、企業文化や価値観、考え方などが異なる両社の強みを結集した、多様性によるイノベーションを体現した製品となっております。アプリケーションに応じた出力機能や各種のビーム成形レンズなど、今後さらにラインナップを拡充し、FA 業界以外にも、特殊車両や駐車場、駅、インフラなど幅広い業界ニーズに対応してまいります。

現在、マルチユースミリ波レーダセンサ「1A1M 形」以外にも、2つの製品シリーズの開発を行っており、3つのシリーズの発売により、今後 3 年間で 10 億円の事業規模の実現を目指しております。



小型マルチユース
ミリ波レーダセンサ
「1A1M 形」

■ 主な特長

ミリ波技術を駆使したハード構成

- ・ 他社が追従できないビーム成形技術によって、誤検知の少ないビーム領域を実現
- ・ 日本で初めて混信防止、電波発射制御機能搭載の電波認証を取得し、電波の高出力を実現
- ・ 特許申請中の専用反射板の活用で適用用途が拡大

Bluetooth 搭載による IoT の実現



- ・ センサ本体への動作設定・モニタを、各種端末から無線で実施可能
- ・ ノート PC、スマホ・タブレット用の簡単・便利な設定・モニタツールを提供

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画本部 コーポレートコミュニケーション室 元山理映子
(TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com

さまざまなアプリケーションに対応するアルゴリズム



- ファームウェア（FW）上に実装するさまざまなアルゴリズムの開発により、FW を書き換える事で、同じハードウェアでアプリケーションに応じた柔軟な対応が可能

活用シーン

【有無検知】

- 駐車場の車検出（車／人識別アルゴリズム搭載予定）
- 光を吸収する素材（ゴムや黒色系のワークなどの検出）

【距離検出】

- 洗車機に入る車の車幅検出
- 樹脂窓の外からタンク内の液面レベル検出
- 高所作業車などにおける挟まれ防止



IDEC ALPS Technologies 株式会社の Web サイトにて詳細情報を公開しておりますので、下記よりご覧ください。

（URL：<https://iat.idec.com/>）

参考：標準価格

オープン価格

参考：IDEC ALPS Technologies 株式会社の概要

会社名	IDEC ALPS Technologies 株式会社
本社所在地	大阪市淀川区西宮原 2-6-64
資本金	1 億円
代表者	代表取締役社長 錦朋範（IDEC 株式会社 常務執行役員 開発・環境担当）
設立	2021 年 9 月 1 日
出資比率	IDEC51%、アルプスアルパイン49%
事業内容	産業向けセンシング製品、HMI製品、安全製品および無線/通信技術の 事業立案・製品企画、製品開発、製造・販売

以上